令和８年度　　玉川高等学校　学校評価

本年度の重点目標

1. 当事者意識の醸成
2. 学びの意欲を高め、確かな学力を育てる
3. 保護者や関係機関、地域との緊密な連携を推進する

領　域	重　点　評　価　項　目	中間評価(10月)	総合評価（３月）	
		自己評価	自己評価	学校関係者評価
1　学校経営	学校は学校教育目標や経営方針をふまえ、魅力ある学校づくりを行っている。	A		
	教育目標に沿って、生徒、保護者、地域の願いを踏まえた取組を行っている。	A		
2　学習指導	生徒の能力・適性・進路希望に応じた教育課程を編成している。	A		
	生徒にとって適正な授業計画に基づいて授業を行っている。	A		
3　生徒指導	日常の指導を通じて生徒の生活態度を向上させている。	A		
	交通ルールを遵守させ、違反件数や事故件数を減らしている。	A		
	いじめに対し、常に情報を収集し、問題解決に努めている。	A		
4　進路指導	望ましい職業観、進学意識を育成する指導を継続的に行っている。	A		
	個に応じた進路指導を適切かつ有効に行っている。	A		
5　特別活動等	学園祭等の行事の充実を図っている。	A		
	部活動加入率の向上とさらなる活性化に努めている。	A		
6　学校図書館	読書を習慣づけ、その大切さに気づかせる指導を行っている。	B		
	教科・科目、総合的な探究の時間や特別活動等で学校図書館を活用できる体制をとっている。	B		
7　保健・安全指導	生徒の事故、けが、病気等の予防指導と処置を適切に行っている。	A		
	生徒の悩みなどの相談に応じる教育相談体制をとっている。	A		
8　人権教育	人権尊重の教育を実施している。	A		
9　環境教育	校舎内外の美化に努めている。	A		
	ゴミの減量化を図り、リサイクルに努めている。	A		
10　事務・管理	施設・設備の適切な管理に努め、学習環境の整備を行っている。	A		
11　その他 学校の取組	本校の教育について、外部に積極的に発信している。	A		
	様々な行事や取組を通して、特色ある学校づくりをすすめている。	A		

（注）・評価表の見方：　６月　学校の教育目標に基づいた重点評価項目の公表
１０月　中間評価（自己評価）の公表（８月までの教育活動に対する中間評価）ＡＢＣＤの４段階評価で示す。
３月　総合評価（自己評価・学校関係者評価）の公表（年間の教育活動に対する総合評価）ＡＢＣＤの４段階で示す。

・自己評価は教職員による評価。学校関係者評価は、保護者・学校評議員等より構成された評価委員会等が自己評価の結果について評価することを基本として行う評価。

・ＡＢＣＤの基準については、評価項目の内容が、十分に達成できた場合（達成度80%以上）はＡ、おおむね達成できた場合（達成度60%以上80%まで）はＢ、
あまり達成できていない場合（達成度40%以上60%まで）はＣ、達成できていない場合（達成度40%未満）はＤとする。

学校のＵＲＬ：https://www.tamagawa-h.shiga-ec.ed.jp